

くち ども ばん しよ あと 口留番所址

21

江戸時代の旅人になった気分で



山中口留番所址

村内には平野と山中に口留番所址があります。

口留番所とは、江戸時代に領知の境界や交通の要所などに設置された小規模な関所のことで、通行する人や物資の監視、税の徴収、境界の警備などが主な役目でした。

村では、籠坂峠を通して駿河・伊豆・相模へ行くための要所である山中と、三国峠を通して甲斐・駿河・相模へ行くための要所である平野に関所が設けられたとされています。

明治に入ると維新政府によって廃止されましたが、現在でも、関門の敷石や柱の土台となる沓石が残っています。

達人

山中まちづくり委員会
※山中口留番所址

村のみんなの

声

山中の口留番所址には、当時をしのぶものとして、矢来の支柱のエンジュの逆さ木の古株があったが、現在はなくなってしまった。

エンジュの逆さ木があったと言われる場所や関守の墓は、現在の番所址よりも湖畔よりにある。

平野の口留番所址は石があるだけなので、整備して示すとよいのでは。

敷石や沓石くつしがただ転がっていただけだったので、きちんと展示できるよう、山中区会が協力して整備した。

掘り起こされた

宝

27 山中口留番所址

28 平野口留番所址

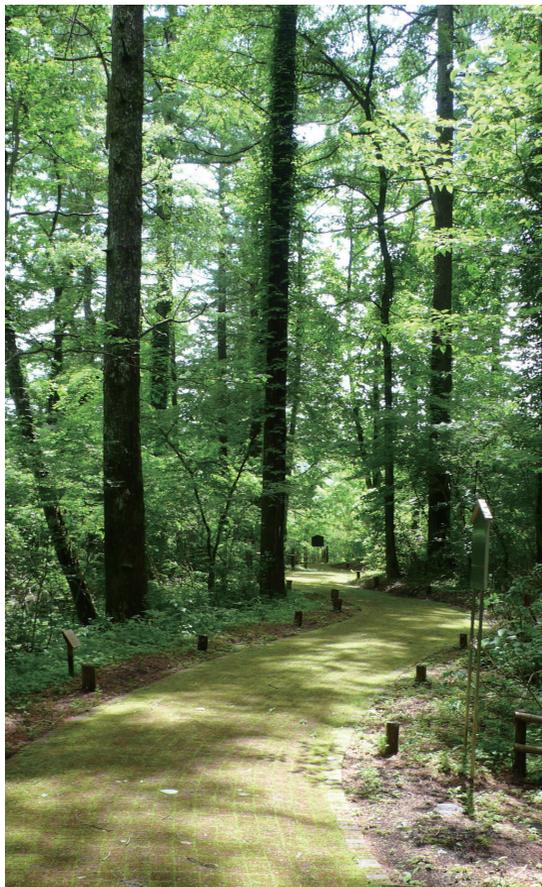
June

6月

文学の森

22

森で知る文化・芸術と昔の暮らし



文学の森の散策路

この公園では、富士山北麓の豊かな森の中で、文学の香りに浸りながら自然を満喫することができます。

園内には三島由紀夫文学館や俳句の館風生庵、昔の村の生活具を展示した蒼生庵などの文化施設が多数あるとともに、散策路沿いには山中湖に縁のある俳人や歌人による句碑、歌碑が点在しています。

また、6月に花を咲かせるツルアジサイやイワガラミをはじめとした四季折々の自然観察やバードウォッチングなどを身近に楽しむことができます。

村のみんなの

声

詩人の金子光晴は戦時中、平野に疎開してきた。

文化人や芸術家にまつわる話やモノを一同に展示できればすごいお宝。

森の中に煉瓦敷きの道が整備され、句碑が至る所にあるため、散歩するにはよいところ。

風生庵にある一本の木をくりぬいた丸木舟が興味深い。

旭日丘の別荘地から直接アクセスできる道があると、より利用されるかもしれない。

蒼生庵には、下駄スケートやかんじき、古いスキー板、農具などが展示されている。

蒼生庵は実際に行ってみたらとても面白かった。あまりPRされていないのもったいない。

もう少し広い駐車場があると良い。

こんなに寒い地域で、蒼生庵のように障子戸だけで外と仕切られていたというのは、とても寒そう。

イワガラミは村内に多い。

掘り起こされた

宝

- 29 文学の森
- イワガラミ
- ツルアジサイ
- 山中湖に滞在した文化人や芸術家

June

6月

フォッサ・マグナ 要素の植物

23

荒地に根を下ろした花たち



サンショウバラ

村のみんなの

声

サンショウバラやフジザクラは山中湖観光情報の春を彩る花として紹介している。

サンショウバラやフジザクラは、ネイチャーガイドツアーでWEBや掲示板でもPRしている。

フジザクラは花の都公園で春一番はじめに咲くため、春をつける花といえる。

昔は、フジザクラの実をつぶして肌に絵をかき、入れ墨だと言ってあそんだ。

フジザクラがよく見られる「いこいの森」は、千年前の富士山の噴火でできた鷹丸尾溶岩流の上に育った森。

掘り起こされた

宝

● サンショウバラ

● フジザクラ

30 いこいの森

フジザクラは別名マメザクラといい、数種あるようだ。

富士山が誕生するよりずっと昔、村を含めた山梨県とその周辺の陸地が沈降して大地溝帯（フォッサ・マグナ：ラテン語）ができ、日本列島が分断されました。

この地溝帯が火山活動により陸化した現在も、丹沢、箱根、富士、伊豆を中心としたこの地溝帯の南半分地域にしか分布しない植物が数多くあります。これらを「フォッサ・マグナ要素の植物」といい、かつての火山活動の後に、いち早く根付いた植物の祖先だといわれています。

村には、「村の花」で、6月に花を咲かせるサンショウバラのほかに、フジザクラやフジアザミなど17種が分布し、花の都公園や紅富士の湯のすぐ近くに整備された自然観察遊歩道「いこいの森・さんばみち」で気軽に見ることができます。

達人

富士山自然学校

June

6月

ハリモミ林

24

世界的にも貴重な林を知る・守る



ハリモミの巨木

掘り起こされた

宝

31 ハリモミ純林

● コシアブラ

● ハリモミの巨木

守る会をつくる。解説できる人を育てる。

森が豊かだから山中湖の水がきれいなのをPRする。

● 溶岩とその中を流れる沢

森林浴には最適である。特に、体のNK細胞に働きかけて、健康を増進させるテレペンが多い6～7月がよい。

林内には湧水が湧き、沢も流れている。

ハリモミの巨木は溶岩台地の上に生まれた林の盟主。

林内のコシアブラの新芽は山菜であり、香があってタラの芽よりもうまい。

ハリモミは別名バラモミと呼ばれるマツ科の半日陰性の植物で、本州に広く分布しています。

ハリモミは純林を形成するのは珍しく、村のハリモミ純林は鷹丸尾溶岩流上に形成されたもので、国の天然記念物に指定されています。

村のハリモミ純林は、大正時代に来日したアメリカのヘンリー・ウィルソン教授により世界に紹介されました。昭和30年頃の最盛期には3万本ものハリモミがありましたが、現在は樹勢が衰え、古木も多くなってきており、村では2000年頃から純林の再生に取り組んでいます。

達人

富士山自然学校

村のみんなの

声

植物をよく知っている人と歩くと楽しい。一人で歩いても分からない。

ハリモミ純林があるのは世界でフィンランドと山中湖村のみと言われている。

村人でも林内に入ったことある人は少ない。

林床は足元が悪く、キコリが入らなかったから森が守られたのかもしれない。

ハリモミは握るとトゲトゲして痛い。モミは痛くないので、違いが分かる。

現在はアカマツも多くなっており、純林とは言えなくなっている。

June

6月